



週間情報



No.0235

発行日 令和2年10月20日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 消防特別仕様フェイスシールドの寄付採納式を開催

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和2年9月25日（金）、三菱自動車工業株式会社水島製作所様及び倉敷南ロータリークラブ様から、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の必需品であるフェイスシールド1,000個を寄付していただきました。このフェイスシールドは、倉敷南ロータリークラブ様からの資金援助をもとに、三菱自動車工業株式会社水島製作所様に、ひとつひとつ手作りで作成していただいたものです。作成に当たって消防職員の意見をお聞き取りいただき、ヘルメットやアポロキャップの上から装着できるように工夫を凝らした消防特別仕様になっています。このフェイスシールドを有効に活用し、今後も職員一同感染予防に努めてまいります。



【寄付採納式の様子】



【装着した状態】

◆ 「市民見学会」を開催

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、令和2年9月26日（土）、当市消防総合センターで、消防隊・救助隊・消防ヘリコプター「おおとり」の訓練見学と、地震体験などができる「市民見学会」を開催しました。

当日は、来場者に安心して参加していただけるよう、定員を200人に制限するとともに、手指消毒やソーシャルディスタンスの確保などの新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底して行いました。

今年初の「市民見学会」は、約10カ月ぶりの開催で来場者からたくさんの拍手をいただき大盛況でした。



【市民見学会の様子】

◆ 災害時受援計画策定に伴い「災害時の物資の供給に関する協定」を締結

南渡島消防事務組合消防本部（北海道）

南渡島消防事務組合では、令和2年9月28日（月）、災害時受援計画策定に伴い管内の事業所と「災害時の物資の供給に関する協定」を締結しました。

これは、北海道広域消防相互応援協定や緊急消防援助隊での応援を受け、現場活動が予想以上に長期間に及んだ場合など、物資が不足することへの備えとして、食料品をはじめ、仮設トイレや発電機などの提供について管内の事業所3社と協議のうえ締結したものです。

毎年、全国的に異常気象による災害が発生する中、同協定を結んだことは、応援を受け入れる際の備えとして非常に心強いものとなります。今後も、民間企業と連携しながら災害時の対応について整備してまいります。



【協定締結後の記念撮影】

◆ 管内生コンクリート関連事業者と「災害時における消防用水等の確保に関する協定」を締結

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和2年9月29日（火）、「災害時における消防用水等の確保に関する協定」を管内の生コンクリート関連事業者と締結しました。

過去に管内で大規模な林野火災が発生した際、地元の生コンクリート関連事業者のミキサー車が消防用水確保に協力していただいた経緯があり、今後、起こりうる大規模火災時の消防用水確保の必要性にご理解、ご賛同いただいた関連事業者と協定締結となりました。

関連事業者の保有する多数のミキサー車と連携し、円滑に消防活動ができるよう取り組んでまいります。



【協定締結後の記念撮影】

◆ 「写生大会・消防フェスタ」を開催

総社市消防本部（岡山）

総社市消防本部では、令和2年10月4日（日）、当消防本部庁舎グラウンドで、「写生大会・消防フェスタ」を開催しました。

当日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、来場時の体温測定、手指消毒、マスクの着用、3密の回避など、徹底した感染防止対策を講じて、小学生以下の子どもや大人、合わせて800名以上の方に来場していただきました。

写生大会では小学生以下の子どもたちが、はしご車や救急車などを見ながら一生懸命絵を描き、力作を完成させていました。また、同時に開催した消防フェスタでは、放水体験、応急手当体験、重量物挙上体験等を行い、子どもから大人まで非常に多くの方に楽しみながら学んでいただきました。今回のイベントにより、消防の仕事を身近に感じてもらい、幼少期からの防火・防災意識の向上を図ることができました。



【写生大会・消防フェスタの様子】

訓練・演習

◆ 消防救助技術指導会消防局長査閲を実施

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和2年9月25日（金）、当消防局久喜消防署屋外訓練場で、今年度の消防救助技術指導会の訓練成果を確認する場として消防局長査閲を実施しました。

査閲では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、雨が降る悪条件の中、はしご登はん、ロープ応用登はん、ロープブリッジ渡過、ロープブリッジ救出、引揚救助、ほふく救出及び障害突破の7種目を総勢79名の隊員が披露しました。

今後も、消防活動に必要な不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、他者と切磋琢磨して勝ちたいと思う競争心、技術向上を図るための探求心を通じて、模範となる消防隊員を育成してまいります。



【訓練の様子】

◆ 静岡県消防防災航空隊との水難救助合同訓練を実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和2年9月28日（月）、管内を流れる1級河川の狩野川で、近年多発している局地的大雨による河川増水等の災害に対し、迅速かつ的確に対応するため、静岡県消防防災航空隊と水難救助合同訓練を実施しました。

局地的大雨によって増水した河川の中州に男性2人が取り残されたとの想定で訓練を実施し、水難救助の要領や部隊の運用、航空隊要請時の連携要領を確認し、救助技術の向上と航空隊とのより一層の連携強化を図ることができました。

今後も継続的に合同訓練を行い、住民の皆様の安全・安心に寄与するため、さらなる救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 管内事業所の解体予定施設で実災害想定訓練を実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部（埼玉）

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部では、令和2年10月3日（土）、4日（日）の2日間、管内事業所の協力を得て、解体予定の施設で実災害想定訓練を実施しました。

本訓練では、事業所の火災を想定した消火活動、逃げ遅れた要救助者の救出、鉄骨鉄筋コンクリート造の同建物を活用してのブリーチング、ドア破壊等を実施しました。

普段とは異なる環境で訓練を実施できたことで、より実践的な活動となり、特に経験の浅い若手職員にとって貴重な機会となりました。

今回の経験をもとに、現場対応力を高め、あらゆる災害に対応すべく訓練を重ね、地域住民の安心・安全のため日々邁進してまいります。



【訓練の様子】

◆ 令和2年度国際消防救助隊活動訓練を実施

鹿児島市消防局（鹿児島）

鹿児島市消防局では、令和2年10月3日（土）、4日（日）の2日間、当消防局の都市型捜索救助活動訓練施設で、24時間ブラインド型の国際消防救助隊活動訓練を実施しました。

この訓練では、海外で大規模地震が発生し、国際緊急援助隊救助チームの一員として被災国に派遣されたとの想定で活動を行い、隊員たちは、臨機応変な判断力・行動力を養うとともに、救助技術の向上を図ることができました。

今後も、実災害や派遣に備え訓練や検証を重ね、国際消防救助隊員としての能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研修等

◆ スペアタイヤ交換・タイヤ日常点検要領研修を実施 ～日常管理により重大事故防止を目指す～

都城市消防局（宮崎）

都城市消防局では、令和2年9月29日（火）、当消防局南消防署で、株式会社ヨコハマタイヤネットワークサービス九州都城店の門間達哉店長を講師にお招きし、スペアタイヤ交換及びタイヤ日常点検要領研修を実施し、30名の職員が受講しました。

今回の研修は、緊急消防援助隊等の出動時、タイヤの不具合が発生した際に、自己完結でその障害を排除し、車両運用を滞らせることなく任務を完遂することや、タイヤの日常点検を確実にして、重大事故に起因する小さな症状を早期に発見して事故「0」にすることを目的に行ったものです。点検ハンマーによる適正空気圧の確認、ホイールナットの点検要領、外観点検による早期異常の発見ポイント、自車積載器具によるスペアタイヤ交換要領(救急車・大型消防車)などについて実技指導を受けました。

近年、多発している大規模災害による緊急消防援助隊出動要請を見据えた多角的な研修を今後も実施し、自己完結できる部隊の育成に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 「安全管理研修会」を開催

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和2年9月30日（水）、袋井消防庁舎・袋井市防災センターで、一般財団法人地方公務員安全推進協会にご支援をいただき、元横浜市消防局職員の勝山明彦氏を講師としてお招きし、「安全管理研修会」を開催しました。

この研修会は、近年、複雑化・大規模化する災害に安全かつ迅速に活動することを目的に行ったもので、過去の事例や実体験を通じて消防職員の安全管理の必要性について再確認することができました。

開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、職員同士の間隔を2m離し、分署・分遣所の勤務職員はWeb会議システムを活用してリモートでの参加となりました。

コロナ禍であっても常に安全への高い意識をもって活動できるよう、今後も継続して安全管理研修を行ってまいります。



【研修会の様子】

◆ 「北関東自動車道における災害対応意見交換会」を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和2年10月2日（金）、東日本高速道路株式会社関東支社水戸管理事務所会議室で、「北関東自動車道における災害対応意見交換会」を実施しました。

参加団体は、当消防本部のほか、茨城県警察本部交通部高速道路警察隊、東日本高速道路株式会社関東支社水戸管理事務所、株式会社ネクスコ・パトロール関東水戸事業所の4団体で、各団体が安全管理、災害活動、設備等についての知見を持ち寄り、今後の更なる連携強化に向けての意見交換を行いました。



【意見交換会の様子】

その他

◆ 稲沢市消防団員向け短編研修動画を制作

稲沢市消防本部（愛知）

稲沢市消防本部では、令和2年9月28日（月）、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、毎年実施している消防団員対象の消防訓練を一時中止していましたが、新規加入団員や訓練不足の団員の教養を目的として、消防団員向けの短編研修動画を制作し、稲沢市公式チャンネル（YouTube）に掲載しました。この研修動画は、全部で8編あり、2編ずつ4週にわたって公開しています。

この動画を通して、地域の安心・安全を守る消防団員をより身近に感じていただき、現消防団員の研修と、新たな消防団員の加入促進を図ってまいります。



【動画の様子】



【↑稲沢市消防本部YouTube動画はこちらから】

◆ 【公式】相模原市消防局Instagramを始めました。

相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局では、令和2年10月1日（木）、Instagram（【公式】相模原市消防局（sagamihara_fire））を始めました。このInstagramでは、当消防局が主催または参加する各種イベントや訓練の様子、保有する実働車両等の紹介のほか、当消防局の様々な魅力を写真や動画により発信します。また、市民に消防の魅力を発見していただき、ハッシュタグ「#sagamihara_fire_pic」を使って投稿いただくことで、市民とともに市の内外に当消防局の魅力を広く発信してまいります。



【↑公式Instagramはこちらから】

◆ 広報動画を配信

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和2年10月6日（火）、消防団員募集用プロモーション動画をYouTubeにて配信しました。

この動画は、消防庁の「企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団加入促進支援事業」を活用して作成したもので、今後、テレビCM等で広く活用する予定です。

災害活動で共に協力し合う仲間を募集するため、当市消防団を全力で支援してまいります。

【当市HP（消防団団員募集ページ）】

URL：<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hfdsoum/20200901.html>



【WITH PRIDE大学生ver.】



【WITH PRIDE会社員ver.】

国等の動き

報道発表

◆ 令和2年度消防設備関係功労者等に係る消防庁長官表彰

（令和2年10月9日、消防庁）

消防庁では、11月6日（金）に令和2年度の「消防設備保守関係功労者」、「消防機器開発普及功労者」及び「優良消防用設備等」に係る消防庁長官表彰を行います。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/b8daf2df3274d0b5d5ff0d256af7bb4b173726d.pdf>）に掲載されています。

連絡先：消防庁予防課
担 当：坂場・羽田野・秋山・鈴木
電 話：03-5253-7523
FAX：03-5253-7533

◆ 第35回危険業務従事者叙勲（消防関係）

（令和2年10月10日、消防庁）

第35回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は、631名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章	297名
瑞宝単光章	334名
計	631名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

発令年月日 令和2年11月3日（火）

受章者は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/201010_soumu_1.pdf）に掲載されています。

連絡先 消防庁総務課 福嶋政策評価広報官・樋口事務官 Tel 03(5253)7521 内線 42173 Fax 03(5253)7531

情報提供**◆ 東京消防庁における令和3年度短期受託研修に関するお知らせについて****東京消防庁（東京）**

東京消防庁では、各消防本部の希望職員を対象とし、短期受託研修を実施しています。

これまでの実績で、要望の多い「高度救助技術」及び「火災調査技術」の令和3年度実施の受託研修について、下記のとおり実施することとしましたのでお知らせします。

なお、多数の消防本部職員が受託研修に参加できるよう、各消防本部努めて1名の申し込みでお願いいたします。

<申込受付期間>

令和2年11月2日（月）から令和2年12月11日（金）まで

<申込方法>

希望研修名・対象研修生・希望する研修内容（具体的な研修内容等）・研修を希望する理由・担当者連絡先を明記し（様式は問いません）、申込期間中に下記メールアドレスに送付してください。

なお、申し込み多数の場合は選考させていただきますが、高度救助技術研修については、特別救助隊（消防署）における訓練をご案内させていただく場合があります。

研修決定本部には、電話による決定連絡後、当庁所定の様式により正式申請をして戴きます。

<対象となる研修、期間、実施時期>

研修名	期間	対象者	受入人数	実施時期
高度救助技術研修 （消防救助機動部隊又は特別救助隊における訓練）	2日勤	救助業務に専従し、各消防本部の指導的な立場、または今後指導的な立場になる者で、研修内容を業務に反映する意欲のある者	10名程度	令和3年度中で当庁が指定する時期
火災調査技術研修 （火災現場における調査実習等）	3日勤	火災調査に関して各消防本部の指導的な立場、または今後指導的な立場になる者で、研修内容を業務に反映する意欲のある者 ※火災調査初心者向けの研修ではありません。	3名程度	

※ 「短期受託研修」の他に、「長期受託研修」も実施します。長期受託研修の申込受付期間も、令和2年11月2日（月）から令和2年12月11日（金）までです。詳細は、令和2年7月28日の週間情報をご覧ください。

東京消防庁人事部人事課
試験研修係 亀山・藤田
電話 03-3212-2111 内線 3145
電子メール jinjika4@tfd.metro.tokyo.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4/25発刊）33ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 田島

原稿データは、kikakeikaku@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字程度（160文字以内）で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 田中

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 菅原

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。